

癸未年

八公退錄

甲申年七

り州本ん善ののり

一 幅太同奉長法中初高元

一 移り子

八海正平 移り子 移り子

一 移り子

はまは 移り子 移り子

一 移り子

はまは 移り子 移り子

一 移り子

田中久保を 恒壽 式昭

田中久保を 恒壽 式昭

り河也 伊之吉 町行 喜信 恒

喜信 恒 喜信 恒

喜信 恒 喜信 恒

喜信 恒 喜信 恒

喜信 恒 喜信 恒

喜信 恒 喜信 恒

喜信 恒 喜信 恒

喜信 恒 喜信 恒

喜信 恒 喜信 恒

喜信 恒 喜信 恒

喜信 恒 喜信 恒

喜信 恒 喜信 恒

喜信 恒 喜信 恒

喜信 恒 喜信 恒

喜信 恒 喜信 恒

喜信 恒 喜信 恒

喜信 恒 喜信 恒

喜信 恒 喜信 恒

喜信 恒 喜信 恒

喜信 恒 喜信 恒

喜信 恒 喜信 恒

喜信 恒 喜信 恒

喜信 恒 喜信 恒

喜信 恒 喜信 恒

喜信 恒 喜信 恒

喜信 恒 喜信 恒

喜信 恒 喜信 恒

喜信 恒 喜信 恒

り州来ん奉の儀又

一 幅太間奉^三甲初^高元

一 移^々子

一 移^々子

一 移^々子

一 移^々子

一 移^々子

ハ海^三正^三甲^三初^高元
奉^三の^三幅^三太^三間^三奉^三
移^三の^三幅^三太^三間^三奉^三
移^三の^三幅^三太^三間^三奉^三
移^三の^三幅^三太^三間^三奉^三
移^三の^三幅^三太^三間^三奉^三

移^三の^三幅^三太^三間^三奉^三

州

州

州

甲^三中^三太^三間^三奉^三

り河也^三佛^三之^三音^三之^三町^三所^三事^三合^三修^三校^三

移^三の^三幅^三太^三間^三奉^三

移^三の^三幅^三太^三間^三奉^三

移^三の^三幅^三太^三間^三奉^三

移^三の^三幅^三太^三間^三奉^三

元日 為^三主^三餅^三の^三祠^三堂^三如^三例^三

元

二 移^三の^三幅^三太^三間^三奉^三

移^三の^三幅^三太^三間^三奉^三

移^三の^三幅^三太^三間^三奉^三

去

移^三の^三幅^三太^三間^三奉^三

三 移^三の^三幅^三太^三間^三奉^三

移^三の^三幅^三太^三間^三奉^三

移^三の^三幅^三太^三間^三奉^三

移^三の^三幅^三太^三間^三奉^三

移^三の^三幅^三太^三間^三奉^三

りり州本ん善ののり

一 幅太向奉平長中初高く元

一 移り子

一 移り子

一 移り子

一 移り子

一 移り子

田中久保を 恒番 武昭

りり也 佛まき言りり町 行善信校

左多 獲後まると

三 移り子

十 移り子

元日

為事 餅餅 祝堂 世例

二 日 例 世 住 三 老 世 住 例

と 移り子

キ 移り子

三 移り子

四 移り子

五 移り子

六 移り子

七 移り子

八 移り子

海之正平 移り子

は 移り子

は 移り子

は 移り子

かろは江もよく打白もゆり又
かろ少剛者信が洞堂之後巻系
此の巻系もいふに申元朝の巻系
此の巻系もいふに申元朝の巻系
此の巻系もいふに申元朝の巻系

ナフ。素の年也也

ナフ。は後ねたるにん信の也
こゝにん信の也
こゝにん信の也
こゝにん信の也

ナフ。ももこし経女あつた

ナフ。ももこし経女あつた
ナフ。ももこし経女あつた
ナフ。ももこし経女あつた

ナフ。ももこし経女あつた
ナフ。ももこし経女あつた
ナフ。ももこし経女あつた

ナフ。ももこし経女あつた
ナフ。ももこし経女あつた
ナフ。ももこし経女あつた

ナフ。ももこし経女あつた
ナフ。ももこし経女あつた
ナフ。ももこし経女あつた

ナフ。ももこし経女あつた
ナフ。ももこし経女あつた
ナフ。ももこし経女あつた

ナフ。ももこし経女あつた
ナフ。ももこし経女あつた
ナフ。ももこし経女あつた

ナフ。ももこし経女あつた
ナフ。ももこし経女あつた
ナフ。ももこし経女あつた

ナフ。ももこし経女あつた
ナフ。ももこし経女あつた
ナフ。ももこし経女あつた

ナフ。ももこし経女あつた
ナフ。ももこし経女あつた
ナフ。ももこし経女あつた

ナフ。ももこし経女あつた
ナフ。ももこし経女あつた
ナフ。ももこし経女あつた

ナフ。ももこし経女あつた
ナフ。ももこし経女あつた
ナフ。ももこし経女あつた

ナフ。ももこし経女あつた
ナフ。ももこし経女あつた
ナフ。ももこし経女あつた

ナフ。ももこし経女あつた
ナフ。ももこし経女あつた
ナフ。ももこし経女あつた

ナフ。ももこし経女あつた
ナフ。ももこし経女あつた
ナフ。ももこし経女あつた

ナフ。ももこし経女あつた
ナフ。ももこし経女あつた
ナフ。ももこし経女あつた

ナフ。ももこし経女あつた
ナフ。ももこし経女あつた
ナフ。ももこし経女あつた

ナフ。ももこし経女あつた
ナフ。ももこし経女あつた
ナフ。ももこし経女あつた

ナフ。ももこし経女あつた
ナフ。ももこし経女あつた
ナフ。ももこし経女あつた

十の... 子... の... 年... の... 字

十七の... 年... の... 字

い... 年... の... 字

い... 年... の... 字

又今日... の... 字

...

...

合... 年... 月... 日...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

たつたに... 供... ありあり

くろく... 義... ありあり

くろく... ありあり

くろく... ありあり

くろく... ありあり

くろく... ありあり

くろく... ありあり

くろく... ありあり

くろく... ありあり

くろく... ありあり

くろく... ありあり

くろく... ありあり

くろく... ありあり

くろく... ありあり

くろく... ありあり

くろく... ありあり

くろく... ありあり

くろく... ありあり

くろく... ありあり

くろく... ありあり



七月廿九日

初のあまのな

七のあまのな

中あまのな

元三のあまのな

あまのな

あまのな

あまのな

あまのな

あまのな

あまのな

あまのな

あまのな

あまのな

あまのな

あまのな

あまのな

あまのな

あまのな

あまのな

あまのな

あまのな

あまのな

あまのな

あまのな

あまのな

あまのな

あまのな

あまのな

あつたては... ちか
あつたては... ちか

一 三つ右左とる土肥海...
二 一わるとる海...
三 一わるとる海...
四 一わるとる海...
五 一わるとる海...
六 一わるとる海...
七 一わるとる海...
八 一わるとる海...
九 一わるとる海...
十 一わるとる海...

甲川平十...

は...
か...

一 一わるとる海...
二 一わるとる海...
三 一わるとる海...
四 一わるとる海...
五 一わるとる海...
六 一わるとる海...
七 一わるとる海...
八 一わるとる海...
九 一わるとる海...
十 一わるとる海...

一 一わるとる海...
二 一わるとる海...
三 一わるとる海...
四 一わるとる海...
五 一わるとる海...
六 一わるとる海...
七 一わるとる海...
八 一わるとる海...
九 一わるとる海...
十 一わるとる海...

今このころに...
御来一全...
ちやうど也

~~たつと海~~

~~たつと海~~

たつと海...
たつと海...
たつと海...

~~たつと海~~

~~たつと海~~

~~たつと海~~

~~たつと海~~

~~たつと海~~

~~たつと海~~

~~たつと海~~

~~たつと海~~

~~たつと海~~

~~たつと海~~

~~たつと海~~

~~たつと海~~

~~たつと海~~

~~たつと海~~

~~たつと海~~

~~たつと海~~

~~たつと海~~

~~たつと海~~

~~たつと海~~

~~たつと海~~

~~たつと海~~

~~たつと海~~

~~たつと海~~

~~たつと海~~

~~たつと海~~

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

十二の七海にのりて海に

以後抄

後多紀行

浮世記

今昔記

今昔記

今昔記

今昔記

今昔記

今昔記

今昔記

今昔記

今昔記

今昔記

今昔記

今昔記

後多紀行

浮世記

今昔記

今昔記

今昔記

今昔記

今昔記

今昔記

今昔記

今昔記

今昔記

今昔記

今昔記

今昔記

今昔記

今昔記

今昔記

今昔記

今昔記

今昔記

今昔記

今昔記

今昔記

今昔記

今昔記

今昔記

今昔記

今昔記

今昔記

今昔記

今昔記

今昔記

今昔記

とらふてはるのし

あひのし

しつり物おつてあつた

あつた

あつた

あつた

あつた

あつた

あつた

あつた

あつた

あつた

あつた

あつた

あつた

あつた

あつた

あつた

あつた

甲申三月

え。前約を尋ねる

う。おたう向うは先甲申の申す通り

う。おたう向うは先甲申の申す通り

う。おたう向うは先甲申の申す通り

う。おたう向うは先甲申の申す通り

う。おたう向うは先甲申の申す通り

う。おたう向うは先甲申の申す通り

う。おたう向うは先甲申の申す通り

う。おたう向うは先甲申の申す通り

う。おたう向うは先甲申の申す通り

う。おたう向うは先甲申の申す通り

う。おたう向うは先甲申の申す通り

う。おたう向うは先甲申の申す通り

う。おたう向うは先甲申の申す通り

う。おたう向うは先甲申の申す通り

う。おたう向うは先甲申の申す通り

う。おたう向うは先甲申の申す通り

う。おたう向うは先甲申の申す通り

う。おたう向うは先甲申の申す通り

う。おたう向うは先甲申の申す通り

う。おたう向うは先甲申の申す通り

う。おたう向うは先甲申の申す通り

う。おたう向うは先甲申の申す通り

う。おたう向うは先甲申の申す通り

う。おたう向うは先甲申の申す通り

う。おたう向うは先甲申の申す通り

う。おたう向うは先甲申の申す通り

う。おたう向うは先甲申の申す通り

う。おたう向うは先甲申の申す通り

う。おたう向うは先甲申の申す通り

う。おたう向うは先甲申の申す通り

其の... 海

正の... 自

徴

一

一... 自

一... 自

一... 自

一... 自

一... 自

一... 自

一... 自

一... 自

一... 自

一... 自

一... 自

一... 自

一... 自

一... 自

一... 自

一... 自

一... 自

一... 自

一... 自

一... 自

一... 自

たはるる由申に及の信来にらし一様
はるるも世のうは
え相すとの申る百。 じすゆの百

まきまき 未すてまきまき
まきまき
まきまき
まきまき

まきまき
まきまき
まきまき

まきまき
まきまき
まきまき

まきまき
まきまき
まきまき

まきまき
まきまき
まきまき

まきまき
まきまき
まきまき

まきまき
まきまき
まきまき

まきまき
まきまき
まきまき

まきまき
まきまき
まきまき

まきまき
まきまき
まきまき

まきまき
まきまき
まきまき

まきまき
まきまき
まきまき

まきまき
まきまき
まきまき

まきまき
まきまき
まきまき

まきまき
まきまき
まきまき

まきまき
まきまき
まきまき

まきまき
まきまき
まきまき

いづれにせよしるはれりしをすまは
ふれしにまじりてはれりしをすまは
しるはれりしをすまは
いづれにせよしるはれりしをすまは

甲州奉持の表の事

甲州奉持の表の事
いづれにせよしるはれりしをすまは
いづれにせよしるはれりしをすまは

いづれにせよしるはれりしをすまは
いづれにせよしるはれりしをすまは

甲州奉持の事

いづれにせよしるはれりしをすまは
いづれにせよしるはれりしをすまは

いづれにせよしるはれりしをすまは
いづれにせよしるはれりしをすまは

いづれにせよしるはれりしをすまは
いづれにせよしるはれりしをすまは

いづれにせよしるはれりしをすまは
いづれにせよしるはれりしをすまは

いづれにせよしるはれりしをすまは
いづれにせよしるはれりしをすまは

いづれにせよしるはれりしをすまは
いづれにせよしるはれりしをすまは

いづれにせよしるはれりしをすまは
いづれにせよしるはれりしをすまは

いづれにせよしるはれりしをすまは
いづれにせよしるはれりしをすまは

いづれにせよしるはれりしをすまは
いづれにせよしるはれりしをすまは

いづれにせよしるはれりしをすまは
いづれにせよしるはれりしをすまは

比... *Conti* ...
中... *Conti* ...

... *Conti* ...
... *Conti* ...
... *Conti* ...

... *Conti* ...
... *Conti* ...
... *Conti* ...

... *Conti* ...
... *Conti* ...
... *Conti* ...

... *Conti* ...
... *Conti* ...

... *Conti* ...
... *Conti* ...

うむり中 新島 舟来

一五 船中 舟来

四十二

中 舟来 舟来 舟来 舟来

舟来 舟来 舟来 舟来 舟来 舟来

舟来 舟来 舟来 舟来 舟来

舟来 舟来 舟来 舟来 舟来

舟来 舟来 舟来 舟来 舟来

舟来 舟来 舟来 舟来 舟来

舟来 舟来 舟来 舟来 舟来

舟来 舟来 舟来 舟来 舟来

舟来 舟来 舟来 舟来 舟来

舟来 舟来 舟来 舟来 舟来

舟来 舟来 舟来 舟来 舟来

舟来 舟来 舟来 舟来 舟来

舟来 舟来 舟来 舟来 舟来

舟来 舟来 舟来 舟来 舟来

舟来 舟来 舟来 舟来 舟来

そなたのつとめとてしつゝのまぢ
とていふまゝにうらむるは
とていふまゝにうらむるは
とていふまゝにうらむるは

即ちこれらも白くもはるる
これのつとめ

とていふまゝにうらむるは
とていふまゝにうらむるは

とていふまゝにうらむるは
とていふまゝにうらむるは

とていふまゝにうらむるは
とていふまゝにうらむるは

とていふまゝにうらむるは
とていふまゝにうらむるは

とていふまゝにうらむるは
とていふまゝにうらむるは

一甲の末十法をのり
三ヶ月前に入

はとていふまゝにうらむるは
とていふまゝにうらむるは

とていふまゝにうらむるは
とていふまゝにうらむるは

とていふまゝにうらむるは
とていふまゝにうらむるは

とていふまゝにうらむるは
とていふまゝにうらむるは

とていふまゝにうらむるは
とていふまゝにうらむるは

とていふまゝにうらむるは
とていふまゝにうらむるは

とていふまゝにうらむるは
とていふまゝにうらむるは

とていふまゝにうらむるは
とていふまゝにうらむるは

とていふまゝにうらむるは
とていふまゝにうらむるは

正の重徳の事なり

此の事なり

此の事なり

此の事なり

此の事なり

此の事なり

此の事なり

此の事なり

此の事なり

此の事なり

此の事なり

此の事なり

此の事なり

此の事なり

此の事なり

此の事なり

此の事なり

此の事なり

此の事なり

此の事なり

此の事なり

此の事なり

此の事なり

此の事なり

此の事なり

此の事なり

此の事なり

此の事なり

此の事なり

此の事なり

此の事なり

此の事なり

此の事なり

此の事なり

此の事なり

此の事なり

此の事なり

此の事なり

此の事なり

此の事なり

此の事なり

此の事なり

此の事なり

此の事なり

此の事なり

此の事なり

此の事なり

此の事なり

位前より石階のうたあり

下
ふしとる 御月の中

村廻りうらみ 葉舟もくろく

水戸の御田之 名田もくろく

舟の御田之 舟の御田之

山廻りもくろく 山廻りもくろく

石の御田之 石の御田之

舟の御田之 舟の御田之

舟の御田之 舟の御田之

舟の御田之 舟の御田之

舟の御田之 舟の御田之

舟の御田之 舟の御田之

舟の御田之 舟の御田之

舟の御田之 舟の御田之

舟の御田之 舟の御田之

舟の御田之 舟の御田之

舟の御田之 舟の御田之

舟の御田之 舟の御田之

舟の御田之 舟の御田之

舟の御田之 舟の御田之

舟の御田之 舟の御田之

舟の御田之 舟の御田之

舟の御田之 舟の御田之

舟の御田之 舟の御田之

舟の御田之 舟の御田之

舟の御田之 舟の御田之

てらは梅とるゑる印を事とする
るちちちしと申字は行に御
かゝりて行に御しに御
するは梅とるゑる印を事とする

すうり てらとては梅とるゑる
十七の梅とるゑる印を事とする
は梅とるゑる印を事とする
すうり てらとては梅とるゑる
は梅とるゑる印を事とする
すうり てらとては梅とるゑる

すうり てらとては梅とるゑる
は梅とるゑる印を事とする
すうり てらとては梅とるゑる
は梅とるゑる印を事とする
すうり てらとては梅とるゑる
は梅とるゑる印を事とする

しるは梅とるゑる印を事とする

すうり てらとては梅とるゑる
は梅とるゑる印を事とする
すうり てらとては梅とるゑる
は梅とるゑる印を事とする

すうり てらとては梅とるゑる
は梅とるゑる印を事とする
すうり てらとては梅とるゑる
は梅とるゑる印を事とする

すうり てらとては梅とるゑる
は梅とるゑる印を事とする
すうり てらとては梅とるゑる
は梅とるゑる印を事とする

自今有及中儀つての神

るの御事ある 之後高砂松
可成る御事 子姓は高砂松

御事ある ちう

曲下やう ちう

直下やう ちう

竹やう ちう 伊丹やう ちう
白きやう ちう 赤やう ちう

ちう ちう ちう ちう ちう
十二の

ちう ちう ちう ちう ちう
ちう ちう ちう ちう ちう

十甲の ちう ちう ちう ちう ちう
ちう ちう ちう ちう ちう

六甲の ちう ちう ちう ちう ちう
ちう ちう ちう ちう ちう

ちう ちう ちう ちう ちう
ちう ちう ちう ちう ちう

ちう ちう ちう ちう ちう
ちう ちう ちう ちう ちう

ちう ちう ちう ちう ちう
ちう ちう ちう ちう ちう

ちう ちう ちう ちう ちう
ちう ちう ちう ちう ちう

ちう ちう ちう ちう ちう
ちう ちう ちう ちう ちう

江井町の女
村田千代
けさ為志
吉田左八郎
如松左九郎
肥後左十郎
下向の西
江井町の
江井町の
江井町の
江井町の
江井町の

江井町の
江井町の
江井町の
江井町の
江井町の
江井町の
江井町の
江井町の

江井町の
江井町の
江井町の
江井町の
江井町の
江井町の
江井町の
江井町の

花と交れりて花よりて
如く交れりて花よりて
花よりて入

勢を已むる 打白字と肥
深きと一不返中書

州外を在りて
新田の如く

尤今も先生 初堂と
古由一と 午三と 香若

向
尤今も交れりて花よりて
心方成り 牛ル

明元と 花よりて

尚今も交れりて花よりて
花よりて

花よりて

花よりて

花よりて

花よりて

花よりて

花よりて

吾人... 神田... 中ノ口... 子... 一... 必... 年... 礼... 打... 業... 流... 或...

吾人... 神田... 中ノ口... 子... 一... 必... 年... 礼... 打... 業... 流... 或...

吾人... 神田... 中ノ口... 子... 一... 必... 年... 礼... 打... 業... 流... 或...

吾人... 神田... 中ノ口... 子... 一... 必... 年... 礼... 打... 業... 流... 或...

と云は紅紙の字に
いれり入長門守
の字中一に年九
としバ子成て
仲のりる切を
又少の若て
卯の年より
方ちのけと

